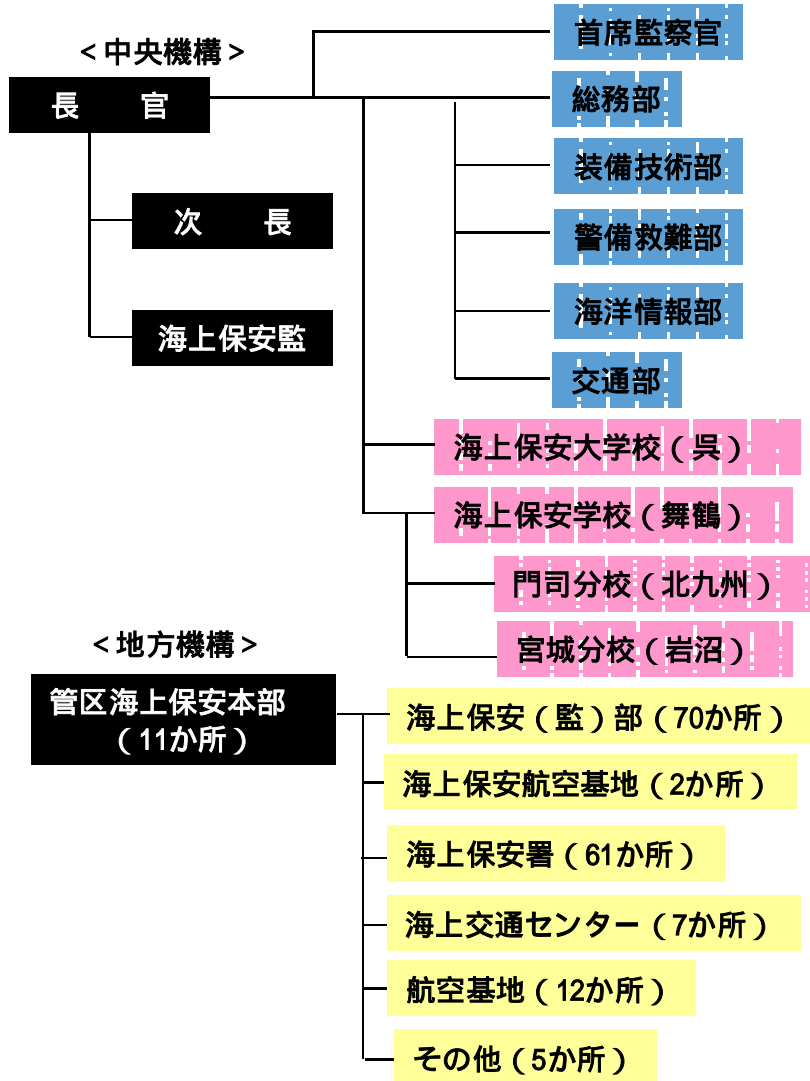


# スクラップ積載船舶火災への対応



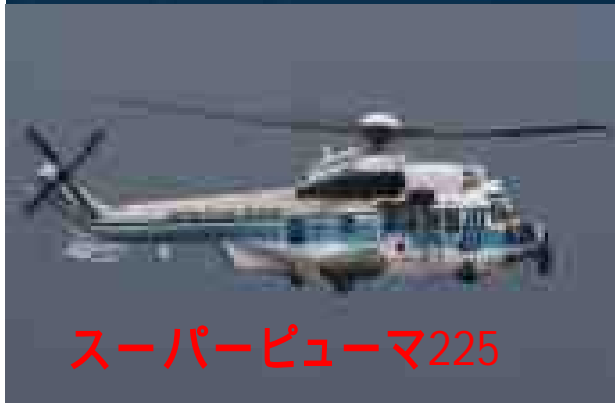
# 海上保安庁の組織

海上保安庁は、国土交通省の外局として設置され、海上における犯罪の取締り、領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全等の活動を行い、全国に11の管区海上保安本部を設置している。



# 海上保安庁の船艇・航空機

海上保安庁では平成26年度末現在、455隻の船艇と74機の航空機を保有、各種業務にあたっている



# スクラップ積載船舶火災への主な対応体制



海難調査・海難防止活動

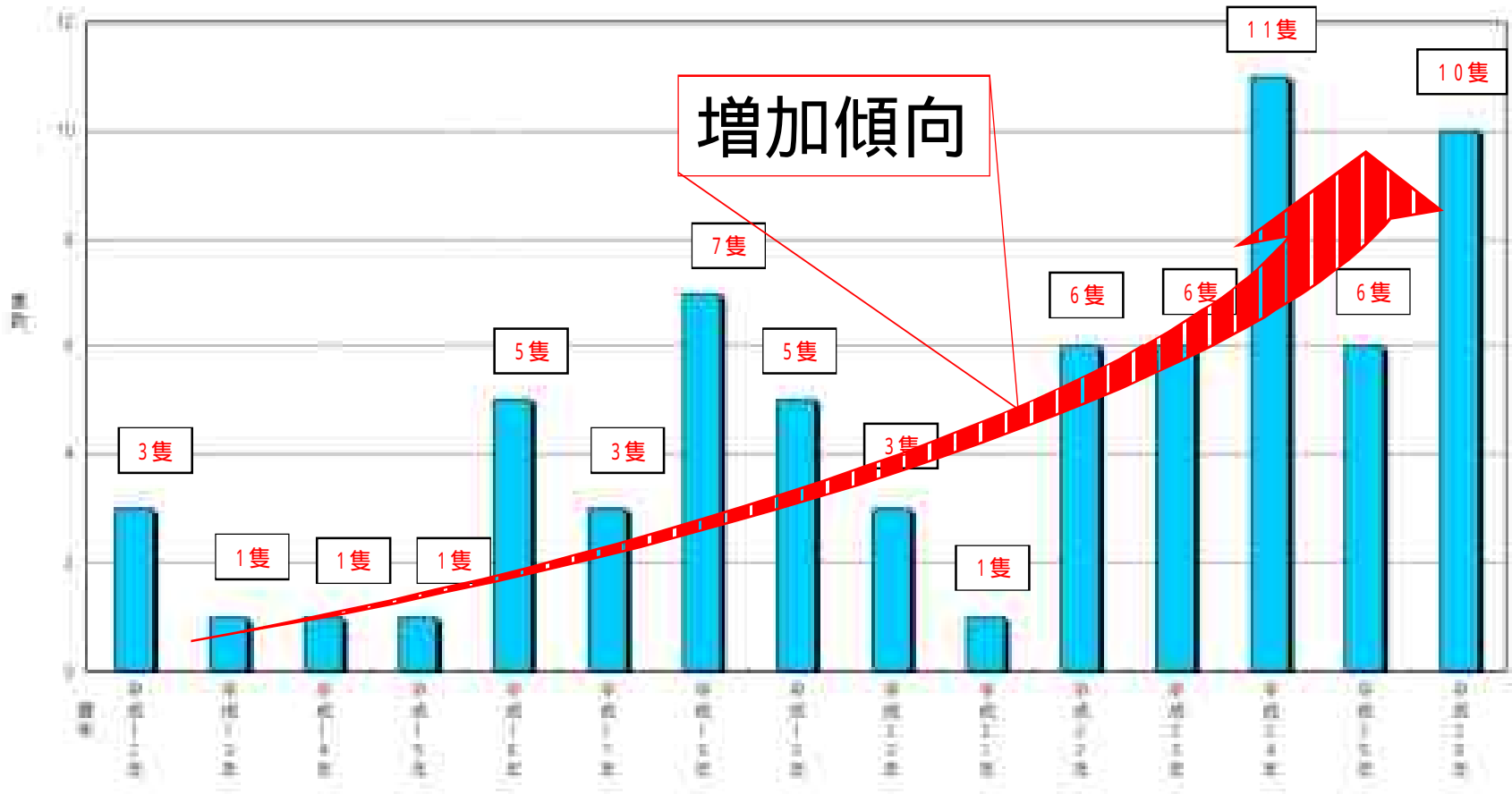
火災スクラップ積載船舶救助  
(乗組員救助、船体救助)



被害拡大防止、海面火災対応、船体処分等

火災事案の調査

# スクラップ積載船舶火災隻数の推移(過去15年)



発生状況: 航行中15隻、荷役中57隻

# 当庁が消火活動を行った事例

【事例1】平成25年1月18日 神戸 / 航行中



【発生場所】  
兵庫県神戸灯台から213度  
16キロメートル付近の海上

カンボジア籍貨物船  
「CHUN XING」 1,292t、  
積荷:スクラップ約950トン、  
中国人7名、スリランカ人1名、  
ミャンマー人1名乗組み 船橋  
~中国向け)

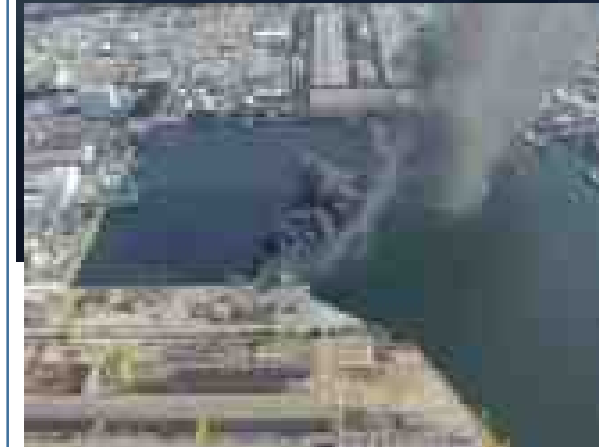


【事例2】平成25年2月21日 千葉 / 停泊中



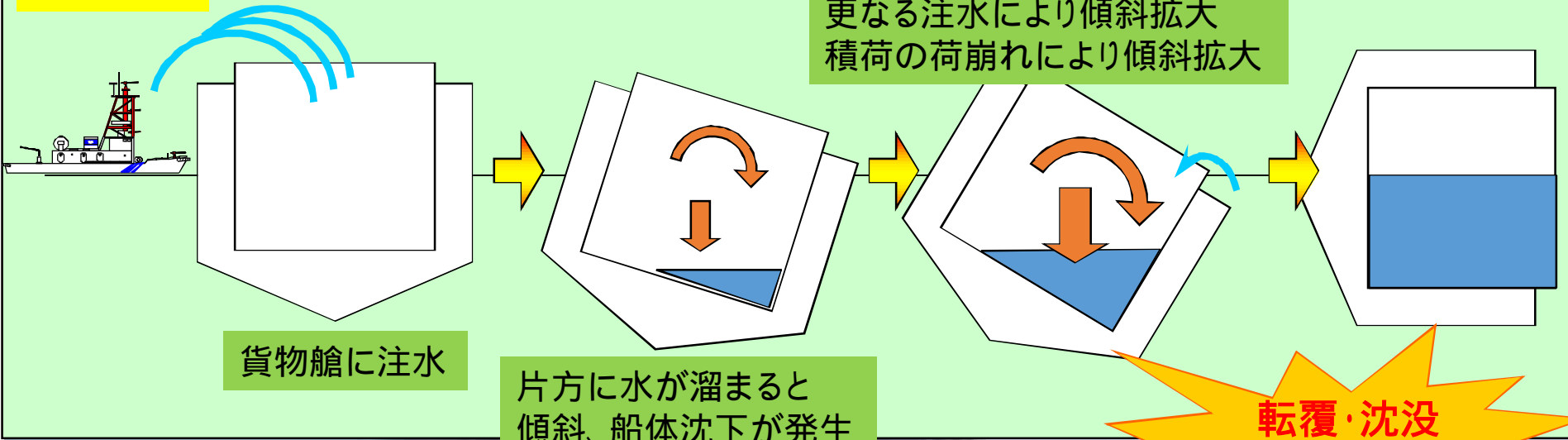
【発生場所】  
千葉縣市原市市原公共埠頭

カンボジア籍 貨物船  
「ITRIP(アイトリップ)」 1,457t  
8名乗組み(全員中国人)



# スクラップ積載船舶火災への対応(消火の困難性)

直接放水



船体冷却放水



火源と可燃物の分離(陸揚げ)

# スクラップ積載船舶火災による海域への影響



漁業被害

沿岸住民の健康被害

海上交通への影響

観光業への影響

港湾機能・物流システムへの影響

海洋レジャーへの影響

海上工事への影響





# スクラップ積載船舶への海難防止活動



貨物船運航者等に対する安全講習会



訪船指導の状況

リーフレット作成配布

**雑品スクラップの火災に注意！**

反響の山崎子と謝罪します

秋田海上保安部

スクラップ積載船舶火災事故を受け、各海上保安部等の職員によりスクラップ積載船舶乗組員、代理店、荷役業者等に対して、早期通報等の対策を呼びかけている。